

特集

東洋医学を看護に生かす
鍼灸の思想で西と東を結ぶ

漢方や鍼灸などに代表される東洋医学は、最近になってやっと効用の認識はもちろん保険においてもきちんと点数評価されるようになりました。ただ、看護とのかかわりという面においては、自身が東洋医学の恩恵を受けていたりする場合を除いては、まだまだ直接的とは言えません。

今回は、病院内で鍼灸に取り組んでいる現場を通して、その活動が看護にどのような影響を与えあるいは与えられているかという状況を紹介し、「触れる」ことを大事にする看護において、東洋医学は必ず強い味方になるはずです。

東洋医学が看護にもたらすもの 鍼灸の思想から 矢野忠

看護師と鍼灸 自らと患者さんのために 新田節子

西と東の会合う現場で—看護師の立場から 尾野安恵

西と東の会合う現場で—鍼灸師の立場から 山崎翼

招待席

異国での医療に悩む人の掛橋に
大城マリアさん

特別記事

言葉と医療を結ぶ、医療通訳の役割 柳屋有里

連載

A-LSD! 病床からの誘惑・3——甲谷匡賛・西川勝

世界の感受の只中で・3——天田城介

看護師のためのセルフコーチング

自分の人生をコントロールするために・4——鱸伸子・柳澤厚生

患者・看護師双方のためのアクティビティケア・4——六角僚子

見えないものが見えてくる「臨床感染症」とのつきあい方・4——今村顕史

HIV/AIDS ケア 再考・4——沼直美・紺野和子

Pipo さんの疾走ダイアリー・4——Pipo さん

アフリカが紡ぐ命の物語・7——井上冬彦

悩めることも才能だ! 宮子あずさのお悩み外来・19——宮子あずさ

看護学雑誌 第71巻第6号 2007年6月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年ぎめ予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・第69巻以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

「看護学雑誌」編集室(担当/鳥居・大野・小田嶋) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/07/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご掲示くださるようお願いいたします。

編集後記

●春目前にして39℃超の発熱をしたときのこと。「インフルエンザかも」と慌てて病院を受診しましたが、結局は風邪。数種の薬が対症的に処方され、ジェネリック薬品など薬剤師さんから説明を受けながら、改めて「薬は難しい」と実感しました。服薬方法が複雑な疾患はもちろん、異常行動との関連性が調査中のタミフルなどは、人々に大きな不安を与えます。本特集が、患者さんの的確なアドバイスをこなううえで助けとなれば幸いです。

なお、私は今号をもって本誌を離れます。まったく畑違いの私に看護の無限の可能性を示し続けてくれた読者・著者の皆さまに心からお礼を申し上げます。私にとって、今後もナースは公私ともに欠かせない存在となるでしょう! 【鶴淵】

●前回の編集後記でも登場した漫画『もやしもん』(石川雅之作)。皆さんは読まれたことがありますか。農大を舞台にした学生たちの青春漫画……ではあるのですが、物語をリードするのは「菌」に執着する「大人」たち。「肉眼で菌が見える」という、かなり強烈な特殊能力をもつ主人公がかすんでしまうほど、彼らの先生である「樹教授」をはじめとした大人たちのキャラは濃厚。まるで子どものように菌を愛し、菌を語り、菌に執着する「大人」たちに振り回される主人公を含めた「子ども」たち。『もやしもん』ヒットの背景には、こういう「わけのわからない大人に振り回されたい」、潜在的な願望が投影されているんじゃないかなどと考えていたら、前日のみそ汁が醸されてました。菌、おそろべし。【鳥居】

●1か月ほど前から、特に思い当たる節もないまま、左の肘から二の腕にしびれがありました。運動不足かと思ひ負荷を与えたりすると余計に痛みが広がり、筋肉痛かと思ひ抗炎症剤を塗っても、そのときだけ気持ちがいいだけで、根本的には改善しません。そのうち、だんだん筋力が落ち、痛みの範囲も広がり始めたので、あわててMRIを初体験して調べてもらいました。

結果は軽度の頸椎ヘルニアの可能性。プロレス好きの私には、ある意味なじみの診断でした。軽症だったこともあり、「首を痛めたプロレスラーがよく訴える腕の痺れとは、これのことだったのか!」と、ちょっと興奮したりするんだから、ファンというのは困ったものです。もっとも私は、その原因となるような、リングでの厳しい受身をとった覚えは、まったくないんですが……。【大野】